

## 米政策見直しに伴い、競争力強化策を採択

会長職務代理 高橋 敏明



間宮会長 議長就任(県農業委員会大会にて)

十月二十六日、県農業委員会大会が鶴岡市の荘銀タクト鶴岡で開催されました。開会に先立ち、元参議院議員で同大会会長であり、先般逝去された岸宏一氏を偲び黙とうをささげました。大会では、農業農村の持続的な発展等に向けた政策提案を含む三議案が提案されました。本年度の議長は、村山地区を代表して当会の間宮会長がその任に就き、緊張しながらも円滑な議事進行に努めていました。農村の発展を目的とした政策提案では、二〇一八年度から始まる国による減反廃止等の米政策の見直しに伴う農業経営の体質強化策や競争力強化策を提案しました。これらに対応するために適地適作による水田フル活用や需要に応じた米生産を進めるための十分な予算確保を求めました。採択については、農業委員や農地利用最適化推進委員等の約七百三十名の同意が得られ、「頑張ろう三唱」で閉会し、今後の更なる結束を確認しました。



荘銀タクト鶴岡にて

## 産地づくりには行政・JAのバックアップが必要!

委員 青木 忠弘



共同加工場(充実した設備に感心)

「六次産業化共同利用加工施設クラッセ」の先進地の視察研修を行いました。最初に、遊佐町のパブリカ生産については、栽培方法が難しく、体制が確立された現在に至るまで大変苦勞なされたようでした。また、連作障害に対処するためにハウス内にアスパラガスを栽培していることや、パブリカを原材料にしたジュースやゼリー等の加工製品の開発による六次産業化にも力を入れていることに感心しました。更に私の関心を引き出したのは、ハウス



デコの町のパブリカ召し上げ!

等の施設整備に県や町の補助金を活用し、経費の約七割を賄っている点で、正に官民一体となってパブリカによる産地づくりに真摯に取り組んでいたことでした。次に、庄内町の余目駅前にある元米倉庫を改造した「クラッセ」は、六次産業をサポートするための加工設備が充実した、町内外を問わず誰でも料二千円程度で利用できる便利な施設でした。農家個人が対応するには限界があり、この施設の視察を通して、行政や農協のバックアップが必要であると感じました。

## 町認定農業者・町農業委員会 合同研修

推進委員 海藤義則



9月12日 視察場所

はじめに視察した真室川町の二ラ農家は、農業生産法人として二十数名の従業員を雇い、現在九桁農業を実践しており、一億円の売り上げを上げているとのこと。反面、収穫作業が全て手摘みのため、毎日の起床時間が午前0時とのこと、その大変さを痛感させられました。

最上町では、アスパラガスによる産地づくりに取組まれており、今回、集荷施設と現地畑を視察しました。

昼食は旧満沢小学校の校舎を再利用した「母ちゃん食堂」で、お豆腐を使った料理を頂き、その美味しさと母ちゃん達の温かい心配りに大変感動しました。いずれも地域に合った作物の振興に農家と行政と農協が一体となって取り組んでおり、その姿に当町農業の課題を見つけた気がします。

## 守るべき農地を明確化するべき

委員 飛渡 孝

農地の遊休化並びに耕作放棄地は、全国的な問題になっておりますが、当町においても農地パトロールを実施してみると、特に山間部や畑において、耕作放棄地が目立ってきています。水田については、各地区の農用地利用改善組合で貸し借りの調整を行っているのですが、それほどありませんが、中山間部の畑で条件の悪いところ等では原野化が進んでいる様に感じました。やはり、畑については、後継者不足はもろんですが、



大石田(今宿)地内



横山地内

手間がかかるし、農業所得を上げる作物が無いという事も原因なのかもしれません。ある町では、原野化が激しい農地を農地として管理するには限界があるため、農地所有者に事前通知のうえ、再調査を行い、農業委員会では非農地化を決定し、農地所有者に登記地目の変更を要請する非農地通知書を送付しているとのこと。当町においても、非農地判断の実施を試みる等、守るべき農地を明確化する検討が必要になってくるのではないのでしょうか。

## 農業者年金に加入しませんか?

- ◆ 農業者年金は、農業者だけが加入できる国民年金の上乗せ年金です。
- ◆ 納めた保険料とその運用益により年金額が決まる積立方式(確定拠出型)のため、安全な年金制度です。
- ◆ 保険料は全額が社会保険料控除され、節税になります。
- ◆ 自分で月額保険料を決められます。(2万円~6万7千円)

### 経営移譲年金受給者の皆様へ

#### 農業者年金が減額になる場合があります

農地の賃貸の相手先の変更や農地の転用など、農地の移動の予定があるときは農業委員会にご相談ください。

次の項目に該当する場合は、届出が必要となる場合があります。

- 貸していた農地が返還された
- 農業経営を再開した
- 後継者が転出した
- 賃貸の相手方が変更になった
- 後継者が亡くなった

